

成果報告会



日新こども園

飯盛 裕介 副園長

Topics

1. 「日新こども園」の紹介
2. 働き方改革を推進した背景
3. 今回実施した取り組み
4. 総括と次年度に向けて

1. 「日新こども園」の紹介



施設概要

施設種別 : 幼保連携型認定こども園

設置主体 : 社会福祉法人旭福社会

所在地 : 佐賀県佐賀市長瀬町2-18

沿革 : 1979年 日新保育園開所
2013年 佐賀県医療センター好生館敷地内に
日新保育園分園「きらら」開所
2017年 幼保連携型認定こども園に移行

「日新こども園」の特色

- ・こども園と児童発達支援・放課後等デイサービス
「日新アネックスプラス」の併設運営（多機能型施設）
- ・ICTを積極的に導入し、業務に集中できる環境を構築
- ・本園、分園の主幹4名による運営体制
- ・多文化共生を大切にし、国籍や文化の違いを
尊重した保育・教育を実践



教育・保育の風景



泣いても、笑っても、怒っても
最後には笑顔が生まれる
関わりで、心が育っていきます。



一緒にやるからできること、
ひとりで感じてできること、
そのどれも心の幅を広げます。



思いっきり動いて、思いっきり食べて、
心も身体も健やかに育ちます。

職員自慢



一人ひとりの「できた!」に寄り添い、そっと支える保育を大切にしています。



遊びの中にある気づきを大切にし、学びへとつなげる保育を行っています。

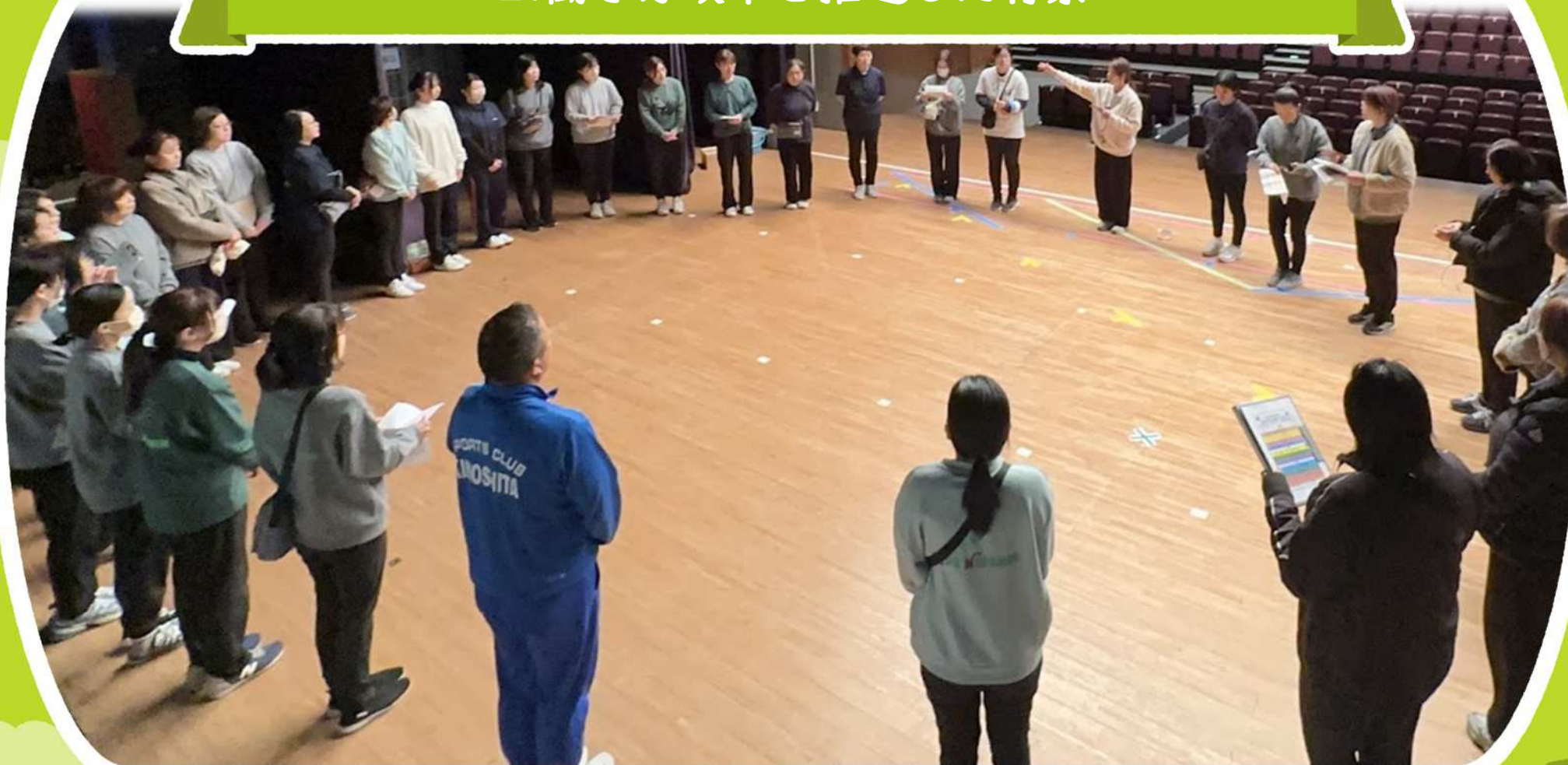


子どもだけでなく、保護者様とも日々、子どもの成長を共に喜び、悩みにもみんなで丁寧に向き合っています。

「日新こども園」で働くみなさん、いつもありがとうございます！



2.働き方改革を推進した背景



主幹の世代交代

創立以来長年勤務してくれていた主幹保育教諭の引退で、
新任の主幹保育教諭が着任する等、運営体制の世代交代が進みました。



休憩取得や更なる業務改善を目指して・・・

職員が、ワークライフバランスをとりながら、長く働き続けることのできる環境を目指して本事業に応募をしました



佐賀県 人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

Foreign Language 防災 救急

背景色 A A 標準 文字サイズ 拡大 標準 キーワード

くらし・子育て 健康・福祉 しごと・産業 観光・文化・スポーツ 県土・まちづくり 県政情報

ホーム > 分類から探す > くらし・子育て > 子育て・教育 > 幼児教育・保育 > 保育施設の働き方改革支援に取り組んでいます
ホーム > 分類から探す > くらし・子育て > 子育て・教育 > 子育てし大県さが(結婚・妊娠・出産・子育て) > 保育施設の働き方改革支援に取り組んでいます
ホーム > 組織(部署)から探す > 健康福祉部 > こども未来課 > 保育施設の働き方改革支援に取り組んでいます

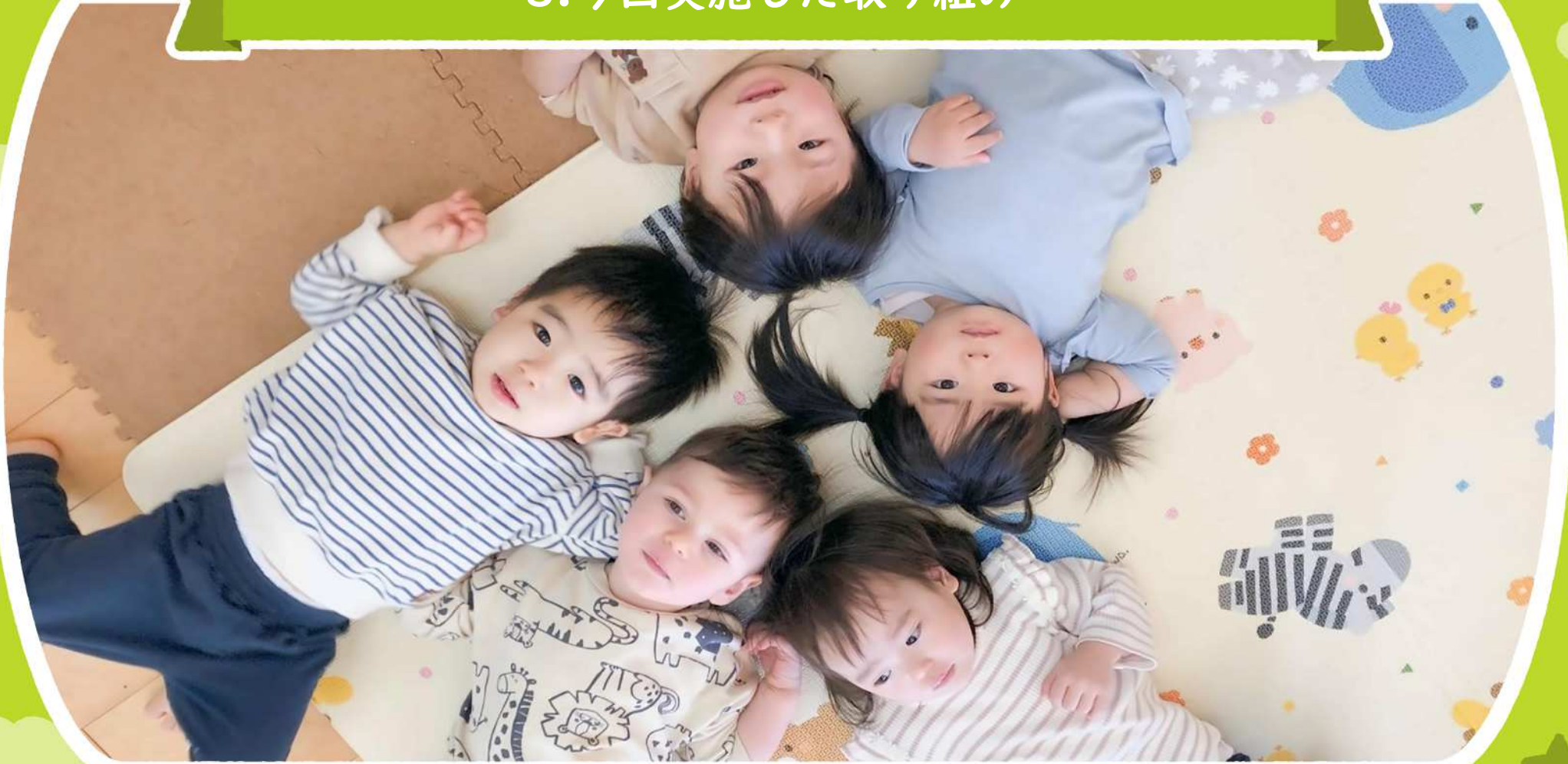
保育施設の働き方改革支援に取り組んでいます

最終更新日：2024年4月18日 | 健康福祉部 こども未来課 TEL：0952-25-7381 FAX：0952-25-7339 kodomomirai@pref.saga.lg.jp

県では、保育現場の職員の皆様が安心して働き続けられ、質の高い保育を追求することができる環境の実現を目指して、令和4年度から保育施設の働き方改革支援に取り組んでいます。
各年度、県内3園にモデル園となっていたさき、コンサルタントによる支援を受けながら、約9か月にわたって働き方改革に取り組んでいただきました。その成果報告会の様子をご覧ください。

※出典：佐賀県「保育施設の働き方改革支援に取り組んでいます」：<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00395878/index.html>

3.今回実施した取り組み



アンケートを活用した現状把握

- ・本園、分園の現状について、まずアンケートを実施しました。
- ・職員の『本音が見えてくる』『問題点も見えてくる』という期待感と同時に『どのような課題がでてくるのか』『それらを具体的にどう解決できるのか』など懸念もありました。

【参考】職員からの意見 1/2

- ・ IT活用がすすんでいるので手書きの書類が少ない。
- ・ 有休が取りやすく、誕生日休暇などあり、申請が却下されることはまずない。
- ・ 色々な事に前向きな職員が多い事、大変な中でも
「どうにかしよう」、「何とかしよう」という姿勢がよく見られる。
- ・ 人間関係がよく、保育に熱心。新しいものを取り入れる情熱と探究心、
保育や働く環境をよくしようと思いでいっしょに取り組めるところ。
- ・ 先生たちの努力する姿勢がある。先生たちの質も良いと思う。
経営側も職員が働きやすくなるように、職員のために、と努力してくれて
いるのがわかる。
- ・ 異年齢活動を取り入れており、子ども達の関わり方や成長が見られる。

【参考】職員からの意見 2/2

- もう少し職員数が増えて、全員の先生方の休憩が完全に確保できるようになれば、現場の負担感が少し減るのではないかと思う。
- お昼寝の時間帯に行っていたクラス間のミーティングがなかなか行えないので、その時間だけクラスに入ってくれる職員を配置してほしい。
- ワークライフバランスも考慮されているが、短時間の先生たちが多いこともあり、早出遅出に対応できる職員の数足りないと思う。
- 常に早当番の時間帯を選択して、その分 早く帰れるという働き方を自らのライフスタイルとして選択できている。

アンケート結果の振り返り

本園

休憩は、半数程取得できているものの全職員（雇用契約対象職員）が取得できるところまでは至っていない。十分な休憩が取れるように食事や休憩場所、ノンコンタクトタイムの時間設定や場所の工夫が必要である。

分園

これまで職員ごとに休憩の取り方や考え方にばらつきがあったが、改めて全員で休憩についての認識を共有する機会を設けたことで、共通理解が深まった。
その結果、職員同士が声を掛け合いながら、休憩が取りやすい環境につながった。

目的・目標の設定

目的

- ・「Happiness for all!」の理念のもと子ども達との時間や自分自身の時間を大切にするために業務の見直しや軽減、効率化を図り、心理的なゆとりを持てる働き方を目指す。

目標

- ・帳票の見直し、会議の目的やあり方の共通理解をする。
- ・休憩時間の取得をする。
- ・ワークバランスの重要性について、組織全体で意識改革を推進し、理解と認識を深める。

アクション① 休憩取得の推進

アクション詳細

■課題

- ・休憩をとるというスタッフの意識がうすく「休憩時間をとるなんてほぼ無理」という保育現場の慣習がある。
- ・休憩をとる職員とノンコンタクトタイムの作業場所が重なっており、十分なスペースが確保できず、ゆっくりと休憩する事が難しい状況。

■対応

- ・「休憩は取れない」から「休憩を取る」という発想の転換。
- ・業務やシフトの調整をこまめに実施し、各クラスでの休憩取得を推進。
- ・全員給食から昼食持参も選択可能とした。
- ・事務室等を整理し、休憩場所を確保。



参考：休憩環境の整備

本園



分園



参考：食事環境

園児と一緒に昼食



保育室からはなれての昼食



アクション② 帳票の簡素化

アクション詳細

■課題

- ・書類の内容に重複があり、事務作業が負担になっている。
- ・ドキュメンテーションをはじめ、作成にあたって、時間、記述等に関する基準が明確になっていない。

■対応

- ・11月から月案、週案のフォーマットを変更し、運用を開始。
- ・連絡帳、ドキュメンテーション等の作成基準（時間、内容、様式等）を平準化し、明確にした。



4.総括と次年度に向けて



取り組みの振り返り

本園

食事や休憩、残業や持ち帰り業務について、職員により認識に違いがあった。働き方や休憩、休みの考え方や取得方法の周知・確認を行い、職員間での共通理解をはかりたいと考えました。あわせて、要望と提案をセットとしてとらえ、職員全員で働きやすい職場を作っていきたい。

分園

食事・休憩取得についての考えの共通認識ができていなかった為、職員全員で共有するきっかけになった。帳票については、今まで行ってきた年・月・週・日の計画を簡素化するにあたって、保育計画の質を下げない為のアドバイス等をもらいながら新帳票を平準化することができた。今後も本園・分園ともに協力しながら働きやすい職場を作っていきたい。

次年度アクション①：基準の浸透と定着

アクション詳細

■課題

- ・今年度、主幹を中心に改革を推進したが、来期以降の定着に課題。

■対応

- ・リーダークラスの職員を巻き込みながら、現場全体への浸透と定着化。
- ・休憩のとりやすさ、定時帰宅の醸成。
- ・帳票作成・保育環境・あそびや教育内容等の園としてのスタンダードを明確にし、維持定着。
- ・職員からの意見や改善提案を継続的に取り入れる体制を構築。



次年度アクション②:行事の見直し

アクション詳細

■課題

- ・「これまでやってきたから」「よその園もやってるから」等、行事の基準や考えについて、意図、根拠などが職員全体で共通理解できていない。

■対応

- ・行事の意義や目的、「こども」のための行事になっているか教育的視点について、改めて共通理解を図り、保護者理解も求めていく。
- ・削減できるものは削減し、残すべきものは残し、必要なものは見直して改善し、進化させていく。



ご清聴ありがとうございました

